

## 不定詞 (to + 動詞)

### 1. 不定詞 (ふていし) ってなに？

これまで「動詞 (play, eat など)」は、「～する」という動作を表すためだけに使ってきました。

しかし、「to」とセットにすることで、動詞を別の役割に変身させることができます。

これを「不定詞」と呼びます。

#### 【基本公式】

to + 動詞の原形

この形にするだけで、以下の3つの意味に変化します。

1. ～すること (名詞に変身！)
2. ～するために・～して (副詞に変身！)
3. ～するための・～すべき (形容詞に変身！)

### 2. ① 名詞的用法 (～すること)

動詞を「名詞」に変える用法です。

「サッカーをする」→「サッカーをすること」と言えるようになります。

#### 【訳し方】

～すること

よく使うセット (絶対に覚える！)

特に「～したい (want to)」はテストに必ず出ます。

- want to ~ (～したい = ～することを欲する)
- like to ~ (～するのが好き = ～することを好む)
- try to ~ (～しようとする = ～することを試みる)
- start to ~ (～し始める = ～することを始める)

#### 【例文】

- I want to play soccer. (私はサッカーがしたいです)
- He likes to swim. (彼は泳ぐことが好きです)
- To study English is important. (英語を勉強することは大切です)

### 3. ② 副詞的用法 (~するためにはして)

動詞を「理由」や「目的」を説明する言葉（副詞）に変える用法です。

大きく分けて2つのパターンがあります。

#### パターンA：目的 (~するために)

「なぜそこに行ったの?」「~するために行ったよ」と目的を説明します。

文の後半にくつつくことが多いです。

- I got up early to study. (私は勉強するために早起きしました)
- He went to the park to play tennis. (彼はテニスをするために公園へ行きました)

#### パターンB：感情の原因 (~して)

「うれしい」「悲しい」という気持ちを表す言葉の後ろにくつついで、「~して(うれしい)」と理由を説明します。

- I am happy to see you. (あなたに会えてうれしいです)
- I was sad to hear the news. (その知らせを聞いて悲しかったです)

### 4. ③ 形容詞的用法 (~するための/~すべき)

これが一番苦手な人が多い用法です。

名詞の後ろにくつついで、その名詞を詳しく説明します。

#### 【公式】

名詞 + to ~

(~するための名詞、~すべき名詞)

必ず名詞の後ろに置くのがルールです！

- books to read (読むための本 → 読むべき本)
- time to sleep (寝るための時間 → 寝る時間)
- homework to do (やるべき宿題)

#### 【例文】

- I have many books to read. (私は読むべき本をたくさん持っています)
- I want something to drink. (私は何か飲み物(飲むための何か)がほしいです)

### 5. 3つの用法の見分け方（テスト対策）

「次の不定詞と同じ用法のものを選びなさい」という問題がよく出ます。

以下のポイントで見分けましょう。

用法	訳	見分けるヒント
①名詞的	～すること	want to, like to の形ならこれ！ 「～するの」と言い換えられる。
②副詞的	～するために ～して	「目的（動作の理由）」か「感情（happyなど）」ならこれ！ 文の後ろの方にあることが多い。
③形容詞的	～するための ～すべき	「名詞」のすぐ後ろにくっついていたらこれ！ something to ~, time to ~ など。